Enjoy Concerts! Music Program TOKYO

プラチナ・シリーズ

1
Platinum Series

シュロモ・ミンツ（ヴァイオリン）＆東京都交響楽団メンバー

～ヴィヴァルディ＆ピアソラ 2つの四季～

©Andrei Birjukov

©Great The Kabukicho

都響写真©T.Tairadate

2025年（令和7年）8月9日｜土 Sat｜15:00 開演 Start（14:30開場 Open）

東京文化会館 小ホール
Tokyo Bunka Kaikan Recital Hall

【出演】
シュロモ・ミンツ（ヴァイオリン）
東京都交響楽団メンバーによる弦楽アンサンブル
　及川博史、塩田 脩、三原久遠、山本翔平（ヴァイオリン）
　萩谷金太郎、林 康夫（ヴィオラ）
　長谷部一郎、森山涼介（チェロ）
　髙橋洋太（コントラバス）
大井 駿（チェンバロ）*ヴィヴァルディのみ

Shlomo MINTZ, Violin
String Ensemble of Tokyo Metropolitan Symphony Orchestra Members
　Violin: OIKAWA Hiroshi, SHIODA Shu, MIHARA Hisao, YAMAMOTO Shohei
　Viola: HAGIYA Kintaro, HAYASHI Yasuo
　Cello: HASEBE Ichiro, MORIYAMA Ryosuke
　Double bass: TAKAHASHI Yota
OI Shun, Harpsichord (only for Vivaldi)

【曲目】
■ヴィヴァルディ：ヴァイオリン協奏曲集 Op.8 Nos.1-4『四季』
■ピアソラ（ファビアン・ベルテロ編曲）：『ブエノスアイレスの四季』

Program
■VIVALDI: Violin Concertos, Op.8, Nos.1-4 Le quattro stagioni
■PIAZZOLLA (arr. Fabián BERTERO): Las cuatro estaciones porteñas

東京文化会館 Tokyo Bunka Kaikan

【4月12日（土）発売】全席指定
S 5,500円　A 4,400円　B 2,750円　25歳以下（全席共通）1,100円

※B席は東京文化会館チケットサービスのみ取扱い。※25歳以下席をご購入の方は、公演当日に年齢が確認できるものをお持ちください。確認する場合がございます。※やむを得ない事情により、内容が変更になる場合がございますので予めご了承ください。※未就学児の入場はご遠慮ください。※託児サービス（要予約・有料・定員あり・締切あり）があります。詳細はお問合せください。

主催：東京都／東京文化会館（公益財団法人東京都歴史文化財団）

助成：文化庁　文化庁文化芸術振興費補助金（劇場・音楽堂等機能強化推進事業（劇場・音楽堂等機能強化総合支援事業））
独立行政法人日本芸術文化振興会

お申込み
東京文化会館チケットサービス
………………… 03-5685-0650　t-bunka.jp
都響ガイド ……. tmso.or.jp/j/ticket/
（土日祝日はwebのみ受付）※25歳以下席の取扱いはございません。
チケットぴあ…… t.pia.jp
イープラス ……. eplus.jp/t-bunka/

公演詳細はこちら

@tbunka_official

Platinum Series

プラチナ・シリーズ Vol.1
シュロモ・ミンツ（ヴァイオリン）＆東京都交響楽団メンバー

　ヴァイオリンの名匠が、最愛のレパートリーを携え、真夏のステージに立つ。1970年代から伝統と格式を誇るコンサートホール、音楽祭に出演。ファン憧れのマエストロ、トップオーケストラとの「響宴」も枚挙にいとまがないヴァイオリン界のレジェンド、シュロモ・ミンツの登場に胸ときめく。ミンツは日本のファン、演奏家とも相愛で、お付き合いは40年以上に及ぶ。
　2025年8月、東京都交響楽団の愛すべきメンバーとふたつの「四季」を奏でることになった。最高だ。
　私たちは日頃、アストル・ピアソラ（1921～1992）の人気曲「ブエノスアイレスの四季」を、ウクライナ出身の作曲家デシャトニコフ編曲のヴァイオリン・ソロと弦楽ヴァージョンで聴く機会が多い。ギドン・クレーメルが広めたデシャトコフ編の「四季」はとても素敵だが、今回ミンツたちが奏でるのはアルゼンチン・タンゴの名ヴァイオリニストで、バンドリーダー、作編曲家としても知られるファビアン・ベルテロによるヴァージョン。何とも鮮烈かつ妖艶な「四季」で、弦の多彩な音色（ねいろ）、奏法に驚く。喜びも哀しみもお任せあれの「四季」で、ピアソラが率いたキンテート（五重奏団）が浮かんでくるかのよう。体感しない手はない。

奥田佳道（音楽評論家）

シュロモ・ミンツ（ヴァイオリン）
Shlomo MINTZ, Violin

©Andrei Birjukov

現代の最も優れたヴァイオリニストの一人として長年にわたり活躍するシュロモ・ミンツと、美しい音色と高い技巧から成る緊密なアンサンブルが持ち味の都響メンバーによる弦楽アンサンブルが、ヴィヴァルディとピアソラ、2つの『四季』で豪華共演。愛弟子である及川博史を中心とした精鋭たちが、名匠の元に集まる。
ミンツは1957年にモスクワで生まれ、その後イスラエルに移住。イロナ・フェヘール、アイザック・スターン、ドロシー・ディレイに学び、ベルリン・フィル、ウィーン・フィル、コンセルトヘボウ管など著名なオーケストラと共演。指揮者としては18歳の時にキャリアを開始し、ロイヤル・フィル、デトロイト響、ロッテルダム・フィル、コンセルトヘボウ管、フランス国立管、スカラ座フィル、メルボルン響、ロシア国立管、ボローニャ・フィル、イスラエル・フィルなどを指揮している。
都響とは2025年シーズンのプロムナードコンサート（8/3）にて、41年ぶりとなる共演（指揮&ヴァイオリン奏者として）を予定。

Music Program TOKYO

世界的な芸術文化都市東京として、音楽文化の活性化を目指し、「創造性」と「参加性」を柱とした多様な事業を年間を通して一体的に展開する音楽プログラムです。クラシック音楽を基軸にしつつ、様々な分野のアーティストや文化施設等と連携して多彩な公演を実施する《Enjoy Concerts!》、海外の芸術機関や国内外の教育・社会福祉機関等と連携した《Workshop Workshop!》、そのほかの教育普及プログラムを《Music Education Program》として開催することで、東京の音楽文化に刺激を与え、世界に向け発信していきます。

2　10/15（水）19:00
ルチアーノ・ガンチ（テノール）
～輝かしきイタリアン・テノール～

©Fabrizio Sansoni

【出演】
ルチアーノ・ガンチ（テノール）
浅野菜生子（ピアノ）

【曲目】
■ヴェルディ：オペラ『海賊』より
「全てが微笑んでいるようだった
～そうだ、海賊の稲妻を」
■レオンカヴァッロ：朝の歌
■ドリゴ：バレエ『百万長者の道化師』より
セレナード
■チョッフィ：五月の一夜
■プッチーニ：オペラ『トスカ』より
「星は光りぬ」
他

チケット発売日：6月7日（土）
S席5,500円
A席4,400円
B席2,750円
25歳以下（全席共通）1,100円

3　［フェスティヴァル・ランタンポレル］
11/15（土）18:00
Trio K/D/M（トリオ・カデム）
～アコーディオン&パーカッションアンサンブル～

©C.Quiroz　©Venera-Red

【出演】
Trio K/D/M
アコーディオン：アントニー・ミエ
パーカッション：エミル・クイヨムクイヤン
パーカッション：ギ・フリッシュ

【曲目】
■酒井健治：アストラル／クロモプロジェクション 打楽器とエレクトロニクスのための
■アンヌ・カステックス：ボード・ゲーム
アコーディオンと2つの打楽器のための
（世界初演）
■マルティン・マタロン：KDMフラグメンツ
アコーディオンと2つの打楽器とエレクトロニクスのための
他

チケット発売日：7月5日（土）
S席4,400円
A席3,300円
B席2,200円
25歳以下（全席共通）1,100円
※本公演は「フェスティヴァル・ランタンポレル」参加公演です（セット券販売あり）。

◀「フェスティヴァル・ランタンポレル」の詳細はこちら

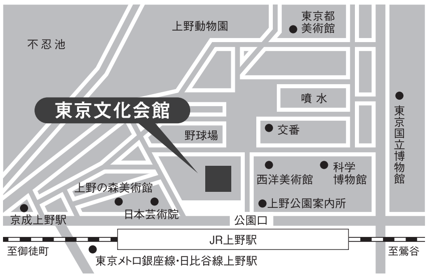
4　2026年（令和8年）
3/11（水）19:00
小曽根 真
～OZONE JAZZ NIGHT～

©YOSUKE SUZUKI

【出演】
小曽根 真（ピアノ）

【曲目】
当日発表

チケット発売日：11月8日（土）
S席5,500円
A席4,400円
B席2,750円
25歳以下（全席共通）1,100円



●JR上野駅公園口より徒歩1分
●東京メトロ銀座線・日比谷線上野駅より徒歩5分
●京成電鉄京成上野駅より徒歩7分